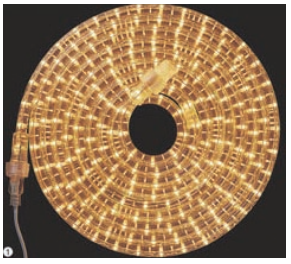
こんな事故にご用心！

装飾イルミネーションの過熱現象

事　例

装飾イルミネーションを商店街の街灯に巻き付けて使用していたら、イルミネーションの連結部分に熱が発生しました。

対象商品



ロープライト

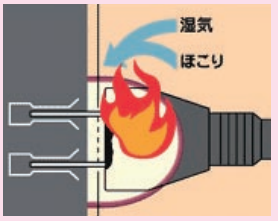
掲載媒体
●2008年10月発行『冬の装飾カタログ2008』
56ページ　ご注文番号88-56-2
●2007年7月発行『2007-2008総合カタログvol.23』
516ページ　ご注文番号71-516-3

※熱が発生した商品は上記の商品ですが、同様のイルミネーション全般が対象です。

原　因

連結部分の差し込みが浅く、完全に連結できていなかった事により雨水やホコリが混入し、トラッキング現象が発生し、連結部分に熱が発生しました。　※商品の品質で起因した現象ではございません。

トラッキング現象とは…
長い間差し込んだままになったコンセントと電源プラグの間にホコリ等がたまり、そこに湿気が加わると、プラグの刃の間に火花放電が繰り返され、その熱がコンセントに接する絶縁部を加熱し、「トラック」と呼ばれる絶縁状態が劣化した電気の道をつくります。やがてここから熱が発生する現象を言います。



ご 注 意

通常、装飾等で使用する室外用イルミネーションは、取扱説明書などには記載してありますが、連結部分やコンセント部分に防滴加工を施していません。
その部分については、差し込みが確実に最後まで差し込まれているか確認し、絶縁テープ等でホコリや雨水の侵入を防ぐ処理をしてください。
また、定期的にほこりや雨水等の侵入がないかを確認し、長期間接続したままでのご利用はお止めください。

お問い合わせ

(株)店研創意 ストア・エキスプレス　カスタマーサービス　TEL.06-6203-6660